

福岡県立山門高等学校



同窓会だより

2015.3.1

第18号

今年度入会者数 196名
同窓会員総数 22,977名

同窓生の皆様のご協力による母校創立百周年記念事業

Yamato high school's Foundation for supporting
Academic, Sports and Cultural Activities

『ASCA(アスカ)基金』創設



略称「ASCA(アスカ)基金」により、平成26年度中に全国大会や全国レベルのコンペ等に出場した次の7部門の生徒たちを平成27年度同窓会総会にて表彰します。

<バドミントン部男子>

- 平成26年度全国総合体育大会 バドミントン競技
シングルス出場 2年 荒木広夢
- 第33回全日本ジュニアバドミントン選手権大会
ダブルス出場 2年 荒木広夢・中里李之
- 第13回日本バドミントンジュニアグランプリ2014
ダブルス出場 2年 荒木広夢・中里李之
- 全国高等学校選抜バドミントン競技大会
団体出場
2年：荒木広夢・中里李之・木元瑛介
1年：山本ひかる・砂坂優太・坂田瑛輝 以上6名

<放送弁論部>

- 内閣総理大臣賞 第68回全国高等学校弁論大会出場
3年 浦 咲月

<書道部>

- 第38回全国高等学校総合文化祭 書道の部出場
3年 荒木駿之介

<文芸部>

- 第38回全国高等学校総合文化祭 文芸の部出場
2年 下田ひな子

ASCA基金で活力を



山門高校同窓会
会長 板橋 元昭

昨秋11月10日、母校・山門高校では創立記念日を祝う式典と記念講演が行われました。同じ日、中国・北京に於いてアジア太平洋経済協力・APEC首脳会議が開催されました。

各国首脳への政策提言者として
インドネシア・バリ、中国・
北京へ同行した人物で、現在
三菱商事（株）の常勤顧問で
もあります。

山門高校の学び舎で苦楽を
共有した同窓生の中の2人が、
同じ日に1人は校内記念講演
の会場で、1人は中国・北京
の世界が注目している会議の
場で活躍している事を思うと
き、私は同窓会仲間の一員と
して高い誇りと大きな喜びを
感じるのであります。

思えは 昭和30年代から50年代の山門高校には裂帛の気合がありました。のんびりした風土の山門郡周辺で育った生徒は素直で真面目である反面、進取の気迫に乏しく、課題を与えられなければ自ら動く術を知らず純朴でした。そこで当時の斎藤敏郎先生に代表される少壮気鋭の若い先生達はこの様な生徒達に活を入れるべくそれぞれ工夫をし努力をして頂きました。そこには大学受験や就職試験に際し地方の高校であるが故のハンディーのため生徒達に損をさせて競争に勝てない生徒達を育ててはいけないという生徒や父兄に対する先生たちの愛の心が充满していました。その事は近隣の旧制中学を前身とする伝統校に負けるな追い越せの気風となり目覚ましい

校も同様の状況ですので、このままなるがままに放っておけば何れは高校再編の対象に成りかねません。

そこで同窓会は百年記念事業の一つに学業・スポーツ・文化活動支援基金（略称・A S C A 基金）を設けることを決め、生徒達の活動を支援し、指導に当たられる先生方の努力を後援し、実績を上げた生徒達を表彰する事としました。今年度（平成 26 年度）から始まるこの事業が学校長の学校運営の理念と方針をささえる力となり、同窓生には心の故郷である母校が永久に発展してゆく縁となる事を期待するものであります。

「文化活動支援基金」により御支援をいただくことになり、改めまして厚くお礼を申し上げます。この御支援により、本校の教育活動全般に対しても、生徒のさらなる意欲の向上及び実績につながるものと確信しております。

さて、本校は本年度創立百二周を迎えております。本年度の教育活動重点目標は、次の3点です。①第一希望での進路実現に必要な学力を身に付けさせるため、魅力ある授業及び親身な指導を行う。②文武両道の指導方針のもと、心身の鍛錬及び個性と社会性の伸長を図る。③キャリア教育計画「夢発見プラン」をとおして、将来への夢を育む教育を実践する。

これらの目標の達成に向け、生徒・職員一同鋭意努力を重

A black and white photograph of a group of approximately 50-60 people, including men in suits and women in various attire, gathered outdoors. In the foreground, a large, white, friendly-looking mascot with a round body and a single eye is standing next to a long horizontal banner. The banner features large, stylized Japanese characters and some smaller explanatory text. The background shows a clear sky and some trees.

▲H26.10.11 浦島橋架替事業起工式において、本校書道部が書道パフォーマンスを行いました。

御挨拶



山門高校
校長
木本和宏

ねております。その結果、大
学進学においては、昨年度に
引き続き、九州大学への合格
者を出すことができました。
また、部活動においては、バ
ドミントン部男子が34年ぶり
に福岡県大会において、団体・
シングルス・ダブルスの全種
目において優勝するなど、全
国大会・九州大会への出場者
数が大きく増加しています。

今後とも本校への御理解・
御支援を切にお願い申し上げ
ますとともに、同窓会のま
までの御巻尾を大切に

福岡県立山門高等学校
工事起工

の
祝賀開幕

工事の無事故安全と
無事竣工を祈り致します

心と心を
繋げ
橋

▲H26.10.11 浦島橋架替事業起工式において、本校書道部が書道パフォーマンスを行いました。

一生で一度の当番学年

前年度実行委員長 平成四年卒 岡本 齊直

平成二十六年五月三日に開催されました。山門高校同窓会総会には、沢山の方にご来場いただき、盛会裏に終了することができます。学校関係者をはじめ、たくさんの卒業生 理事・評議員の皆さん、並びに地域の方々に厚く御礼申し上げます。

さて、昨年のこの同窓会だよりの原稿を書いている時期は、まさに同窓会総会への準備が忙しく、実行委員会の中で喧々諤々の議論を繰り返していたことを、遠い昔の懐かしい記憶のように思い出します（笑）。たった1年前のことなのですが、恐らく、それだけ濃密な時間を過ごすことが出来たのでしょうか。

また、今回の講演会では、福岡県北九州市出身の元ボートレーサー「植木通彦 氏」をお招きしました。植木氏は、現役時代、数々のタイトルを獲得されていますが、そこに至るまでの努力や心構え、まさしく「プロ」としての姿勢は、感服以外の言葉が見当たらないものでした。



▲ 元ボートレーサー 植木通彦 氏



そして、この大切な伝統が、今後も脈々と受け継がれ、山門高校同窓会が益々発展することを祈念し、挨拶とさせていただきます。感謝しております。

そして、この大切な伝統が、今後も脈々と受け継がれ、山門高校同窓会が益々発展することを祈念し、挨拶とさせていただきます。感謝しております。

（株）和・輪
（略）
私たち平成四年卒業生の同窓会のテーマは「和・輪・話」でした。これは、山門高校のこれまでの伝統を引き継ぎ、同窓生みんなで「和み」ながら「輪」をつくり、「語り合い」ながら後輩たちへバトンを渡していくことでした。山門高校の卒業生であれば、誰もが経験する、一生で一度の当



福岡支部総会



平成26年4月12日に福岡支部総会が開催されました。マジックショーなどのアトラクションもあり、楽しい総会となりました。27年度総会は4月11日（土）に開催されます。

各支部ともに、皆様のご参加をお待ちしております。

関東支部総会



平成26年9月20日に関東支部総会が開催されました。約90名の参加のもと、懐かしい話に花が咲き、和やかな総会となりました。27年度も同時期に開催予定となっています。詳細については決定次第ホームページ等にてお知らせいたします。

福岡山門会総会のご案内

同窓会クラス役員

（平成27年3月卒業）

平成26年度卒業生

5組	4組	3組	2組	1組	男子	女子
◎諸富豪隆	篠倉勝太	西山駿治	尾木映斗	米本純太	龍 絹菜	
◎板橋京子	園田 彩	小川美波	松尾 結			

【会費】 男性 七千円 女性 六千円
【問い合わせ先】 樋口 (50年卒)
【電話】 090-3733-5746

【名称】 福岡山門会総会・懇親会

【日時】 平成二十七年四月十一日（土）午後一時受付 午後二時半開始

【場所】 福岡国際ホール（博多大丸最上階）

【料金】 男女共一（七千円）ハハ五五

夫婦 一万円



平成二十七年度
同窓会総会に向けて

「伝承～山門魂～」
テーマ

今年度実行委員長
平成五年卒

横尾 和博

今年度の同窓会総会を担当いたしまして平成五年卒を代表いたしましてご挨拶申し上げます。

創立100年を越える伝統ある高校の同窓会総会を担当するというプレッシャーはあります、とてもやりがいのあることだと思っております。

昨年の5月3日に行われた総会での引き継ぎ式で先輩よりタスキを受け継ぎ、身の引き締まる思いで取り組んできました。

まずは、実行委員会を同級生一丸となつて作り上げてくことが大事だと考え呼びかけたところ、一人、一人と増えていき数人の仲間が集まつてくれ、我々同期生の結束力の高さを感じました。

そして、同窓会を行うにあたり核となるテーマを実行委員会で協議していきました。さまざま意見が飛び交い決定したテーマが「伝承　山門魂！」



▲ 平成 26 年度 同窓会総会ポスター

を再認識し、次世代にひきついでいかなければならぬ役目を全うする。という私たちの強い決意と、がむしゃらだったあの頃（高校生）の無邪気で何事にも前向きだった気持ち（山門魂）を思い起こし、これからを頑張つていこう！と

いう卒業生全員へエールを込めたメッセージです。このテーマをもとに総会へと邁進していくべきだと思っています。

メイン事業の講演会講師には、今が最も旬な昨年までソフバンクホークスの監督をされ、リーグ優勝さらには日本一まで導かれた秋山幸二さんをお招きいたします。

最後になりますが、40歳を迎える節目の年に22年の時を経て再びひとつの方向を向きていく素晴らしい感覚を感じることができます。そこで、40歳を迎えた関係各位の皆様方に感謝を申し上げまして、平成五年卒を代表しての挨拶と

指導「夢発見プラン」をリニューアルし、生徒の第一希望実現のための新しい進路指導をスタートさせました。一年生については、「自己の今までの生き方を踏まえ、現在社会で起ころっている事象と自己をつなげ、これからグローバル社会で生き抜くための進路選択の土台を築く」ことを目標として、職業や大学などをつなげ、これからグローバル社会で生き抜くための進路選択の土台を築くことを

が現在進行中ですが、今年も昨年に引き続き九州大学の合格が一名決定しております。推薦入試については、佐賀大学・鹿児島大学・同志社大学・関西大学・西南学院大学等に合格を決めており、今後も朗報が期待されます。公務員についても、昨年に引き続き国家公務員、福岡県警に最終合格（内定）を決めております。

今後同窓会のみなさまのお力が必要となる進路指導の活動もあるかと思いますので、その際はご協力のほどよろしくお願いいたします。

進路部より

進路指導主事 柿原 寿人

同窓会のみなさまにおかれましては、日頃から本校の教育活動に対してもご支援・ご協力を賜り、深く感謝しております。

監督に就任後もその手腕を發揮され、輝かしい成績を残され惜しまれながら昨年ホークスを退団されております。そ

の強い決意と、がむしゃらだったあの頃（高校生）の無邪気で何事にも前向きだった気持ち（山門魂）を思い出しました。

これは、歴史ある母校の強

い絆と受け継がれてきた伝統が、これまでの歴史を語る上で欠かせない要素です。この伝統を守り、次世代へと受け継ぐために、毎年、同窓会の運営に尽力する実行委員会の皆様に感謝の意を表します。

編集室より

本年の会報18号は、平成4年卒の実行委員会で編集いたしました。快く寄稿していただき感謝いたします。



平成 16 年度制定の
山門高校エンブレム

清水山のきじ車伝説がモチーフ